



初代国立劇場
さよなら記念

第1回 レクチャー：文楽

5月17日（水）19:00～20:50

5月公演では文楽の代表的名作『菅原伝授手習鑑』の初段・二段目が上演されます。
第2回の鑑賞に先立って、文楽の基礎知識と演目の解説、見どころをご案内します。



講師 高木 秀樹

法政大学法学部法律学科卒業。平成2年（1990）から歌舞伎・文楽の同時解説放送「イヤホンガイド」解説者。平成15年（2003）からNHK劇場中継で歌舞伎と文楽の副音声解説を担当。カルチャーセンターで歌舞伎と文楽の講座を担当。大学非常勤講師。著書に『あらずで読む名作文楽50』（世界文化社）と『文楽手帖』（角川文庫）。

会場 九段生涯学習館

第2回 レクチャー：初代国立劇場／文楽鑑賞

5月20日（土）12:30～17:15（予定）

11月に閉場・建て替えを控えた初代国立劇場。
半世紀以上の歴史を誇る劇場の魅力を1時間ほどのレクチャーを通して学びます。
その後、『菅原伝授手習鑑』二段目を鑑賞します。



会場 国立劇場（準町4-1）
伝統芸能情報館・小劇場

『菅原伝授手習鑑』は、『義経千本桜』、『仮名手本忠臣蔵』とあわせて人形浄瑠璃三大名作と呼ばれています。菅原道真が太宰府に左遷された歴史上の事件と天神伝説を背景に、親子・兄弟の情愛、運命に翻弄される悲劇が描かれます。

五段構成の本作は「初代国立劇場」の文楽公演の集大成として5月文楽公演と9月文楽公演をかけて全段上演されます。

鑑賞予定の二段目は、あらぬ疑いをかけられて都を追われる菅丞相（かんしょうじょう＝菅原道真）に降りかかる暗殺計画、疑いの原因を作った菅丞相の養女・苅屋姫（かりやひめ）との別れなど、物語の核となる場面が多く、文楽の魅力を存分に感じていただけること間違いなし！

協力

独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）
株式会社イヤホンガイド

初代国立劇場を知る 5月文楽公演『菅原伝授手習鑑』

すが わら でん じゅ て ならい かがみ

対象 18歳以上の千代田区在住・在勤・在学の方

定員 40名（締切り後、抽選の上、書面でご連絡）

参加費 8,500円（全2回分/1等席チケット代含む）

申込み 4月5日（水）17時までに

電話、FAXまたはHPより九段生涯学習館まで

（FAXの場合…講座名/氏名（ふりがな）/郵便番号・住所/電話番号/年齢・在勤・在学の方は勤務先・学校名を記載）

■4月13日（木）10時以降は8,000円のキャンセル料が発生します。

■天候や交通機関の運行状況およびその他の事情により、講座が中止、変更になる場合がございます。

■保険に加入させていただく関係上、ご本人さま以外のご参加はお断りいたします。初回と2回目でご参加はできません。

■お伺いした個人情報は、当講座運営のための目的以外には使用しません。

■お子さまの同伴はご遠慮いただいております。

■参加時はマスクの着用など、新型コロナウイルス感染症防止対策にご協力をお願いします。

当館ではアルコール消毒など用意し、安全に講座を開催できるよう対策しております。

主催
問合せ



千代田区立

九段生涯学習館
こころを育み 明日へつなぐ

〒102-0074 千代田区九段南 1-5-10
電話 03-3234-2841 FAX 03-3262-7460
HP <https://www.kudan-ll.info/>



全2回